

## ベトナム研修旅行記

2013年11月12日～18日 in ベトナム ホーチミン市  
小林研究室 M1 轟俊一郎

ベトナムはとても素晴らしく最高に楽しかったです。  
日本では絶対に経験できないとても濃密な一週間でした。

- ・ベトナムにある企業を訪問させて貰って



日本電産さんへの質問の時に、なぜベトナムなのか？という質問があったのですが、法人税が安いからという理由もあるのですが、ベトナムが成長する事に喜びを感じているように感じました。私は今まで、働くことの意味について、たくさん給料を貰って自分が豊かな生活ができれば良いと思っていました。しかし、より良い製品を作って世の中を豊かにする等、自分のやりがいがある仕事をやりたいと思いました。

- ・学会発表

学会発表では、同じ修士一年の人が英語で堂々と発表していたので、私も刺激を受けました。質疑応答も、司会者の方および小林先生の助けもあり、無事に乗り越えています。またアオザイを着ていた現地の大学の方も親切に接してくれて、自分のカタコトの英語でもコミュニケーションができて良かったです。一緒に写真を撮ったり、お話ししたり、日本とベトナム間で国際交流ができて良かったです。

・旅行記

ベトナムでは様々なホテルの従業員から日本料理店の店員、大学の人、企業の人など様々な人たちと交流することができました。これほどまでに交流できる研究室は群馬大学では、小林・高井研究室以外にはないと思います。自分は英語がそれほど上手ではなく身振り手振りを駆使しながらではありましたが、何とかコミュニケーションすることができました。今まで日本で過ごしている時には感じられなかった、意思疎通できる喜びというのを実感できました。

夜にお酒を買いに、スーパーに出かけたのですが、夜の街は昼間とは違った顔を持っていて、特に何も起きなかったのですが緊張とドキドキでスリルを味わうことができました。あと些細な事なのですが、最初は全然お金(ベトナムドン)の単位が分からなかったのですが、最終日にはパッと計算できるようになりました。

写真 **Japan Festival** で撮影しました。参加者のほとんどが親日でたくさん写真をとって、素晴らしい思い出ができました。また、お話していて感じた事は、日本語を喋れる人が多いということです。一番衝撃だったのが、どのくらい日本語を勉強しているのか聞くと 2~3 か月と言っていたことです。私なんて 10 年以上も英語を勉強しているのに全然喋れません。英語を何年勉強しているのか聞かれた時に 10 年と答えるのが恥ずかしかったです。また質問した方も驚いていました。日本の英語教育が問題視される事があっても今までは何も思わなかったのですが、本当にそうなのだ実感しました。



今回のベトナム旅行で、研究室の仲間とより一層、絆が深まった気がします。この研究室に入れて良かったと心から感じました。

・最後に

私は他大学から小林研究室に受け入れてくださったのでそれだけでも、小林先生に感謝しています。ベトナムに連れて行ってくださって貴重な経験をさせて頂き、小林先生及び関係者の皆様、本当にありがとうございました。今まで当たり前で日本で生活していましたが、様々な気づきや考え方の変化があり、自分で言うのもなんですが成長したと感じております。小林先生、まだまだ若輩者でご迷惑をお掛けしてしまうと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いたします。